

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和3年6月に「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」を公表した。

令和2砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：177万1000トン（前回見通しから4000トン減）

総供給量：181万7000トン（同1万1000トン増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：47万トン（同1万5000トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：79万5000トン（同3万4000トン減）

（1）砂糖の消費量

令和2砂糖年度（10月～翌9月）の砂糖の消費量は、177万1000トン（前年度比0.9%増）と見通している（表1）。内訳を見ると、引き続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響は見込まれるものの、直近では需要が大きく減少した前年同期を上回って推移していること、またワクチン接種が進むにつれて徐々に人の移動が活発になることや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京オリンピック・パラリンピック」という）の開催を前提とした需要増加が限定的ではあるものの想定されることから、173万5000トン（同0.8%増）と見通している。含みつ糖の消費量は近年の消費動向などを勘案し、3万6000トン（同2.9%増）と見通している。

（2）砂糖の供給量

令和2砂糖年度の砂糖の供給量は、181万7000トン（前年度比1.1%増）と見通している。内訳を見ると、含みつ糖の供給量は179万8000トン（同1.1%増）、含みつ糖は1万8000トン（同5.3%減）

と見通している。国内産糖（分みつ糖）の供給量について、てん菜糖はてん菜の作付面積が前年産に比べて0.7%（約400ヘクタール）増加し、春作業は順調に推移し、昨年6月以降も好天に恵まれ、全体的に順調な生育となったことから、産糖量は63万10000トン（前年産比3.1%減）、供給量は63万トン（精製糖換算（以下同じ））。前年度比3.1%減）と見通している。また、甘しゅ糖は、サトウキビの収穫面積が前年産に比べ2.3%（約500ヘクタール）増加し、作柄については、島によっては春先の低温・日照不足、8月、9月および10月に台風が襲来したことにより、一部地域では被害が見られたものの、全体としては台風被害は比較的少なく、おおむね順調な生育となり、産糖量は14万9000トン（前年産比12.0%増）、供給量は14万2000トン（前年度比11.8%増）と見通している。

表1 令和2砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

| | | 令和元砂糖年度 (実績) | 令和2砂糖年度 | | | | 合計 | |
|-----|------|-----------------|-----------------|---------------|------------------|----------------|-------|-------|
| | | | 10月-12月 (実績) | 1月-3月 (実績) | 4月-6月 (実績見込み) | 7月-9月 (見通し) | | |
| 消費量 | 分みつ糖 | 1,721 | 456.9 | 400.9 | 428.6 | 448.7 | 1,735 | |
| | 含みつ糖 | 35 | 6.7 | 11.7 | 9.8 | 7.3 | 36 | |
| | 合計 | 1,756 | 463.6 | 412.6 | 438.4 | 456.0 | 1,771 | |
| 供給量 | 国内産糖 | 分みつ糖 | 777 | 362.3 | 369.3 | 40.6 | - | 772 |
| | | 含みつ糖 | 11 | 1.1 | 7.7 | 1.0 | - | 10 |
| | | 小計 | 788 | 363.4 | 377.0 | 41.6 | - | 782 |
| | 輸入糖 | 分みつ糖 | 1,002 | 285.9 | 143.1 | 292.9 | 304.2 | 1,026 |
| | | 含みつ糖 | 8 | 1.6 | 3.7 | 2.5 | 0.8 | 9 |
| | | 小計 | 1,010 | 287.5 | 146.8 | 295.4 | 305.0 | 1,035 |
| | 合計 | 分みつ糖 | 1,779 | 648.2 | 512.4 | 333.5 | 304.2 | 1,798 |
| | | 含みつ糖 | 19 | 2.7 | 11.4 | 3.5 | 0.8 | 18 |
| | | 小計 | 1,797 | 650.9 | 523.8 | 337.0 | 305.0 | 1,817 |
| | 期末在庫 | | 374 | 551.7 | 626.6 | 525.2 | 374.3 | 374 |

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

(3) 加糖調製品の需給

令和2砂糖年度の加糖調製品の消費量は、引き続きCOVID-19の影響は見込まれるものの、ワクチン接種が進むにつれて徐々に人の移動が活発になる

ことや東京オリンピック・パラリンピックの開催を前提とした需要の回復などが限定的ではあるものの想定されることから、47万トン（前年度比5.2%減）と見通している（表2）。

表2 令和2砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

(単位：千トン)

| | 令和元砂糖年度 (実績) | 令和2砂糖年度 | | | | 合計 |
|-----|-----------------|-----------------|---------------|------------------|----------------|-----|
| | | 10月-12月 (実績) | 1月-3月 (実績) | 4月-6月 (実績見込み) | 7月-9月 (見通し) | |
| 消費量 | 496 | 121.8 | 115.6 | 108.8 | 123.8 | 470 |
| 供給量 | 496 | 121.8 | 115.6 | 108.8 | 123.8 | 470 |

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：改正糖価調整法（2018年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和2砂糖年度の消費量は、令和元砂糖年度および平成30砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

(4) 異性化糖の需給

令和2砂糖年度の異性化糖の消費量は、COVID-19による外出自粛の影響により、引き続き清涼飲料向けの需要減退が懸念されるものの、直近では

需要が前年同月を上回って推移していることなどを踏まえ、79万5000トン（前年度比1.3%増）と見通している（表3）。

表3 令和2砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

| | 令和元砂糖年度 (実績) | 令和2砂糖年度 | | | | 合計 |
|-----|-----------------|-----------------|---------------|------------------|----------------|-----|
| | | 10月-12月 (実績) | 1月-3月 (実績) | 4月-6月 (実績見込み) | 7月-9月 (見通し) | |
| 消費量 | 785 | 165.2 | 169.8 | 228.9 | 231.5 | 795 |
| 供給量 | 785 | 165.2 | 169.8 | 228.9 | 231.5 | 795 |

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

5月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2021年5月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、3万4674トン（前年同月比49.9%減、前月比71.0%減）であった（図1）。

輸入先国は甘しや糖・分みつ糖についてはタイおよび米国、甘しや糖・その他については豪州で、国別の輸入量は次の通りであった（図2）。

タイ 1万6968トン

（前年同月比2.0倍、前月比70.2%増）

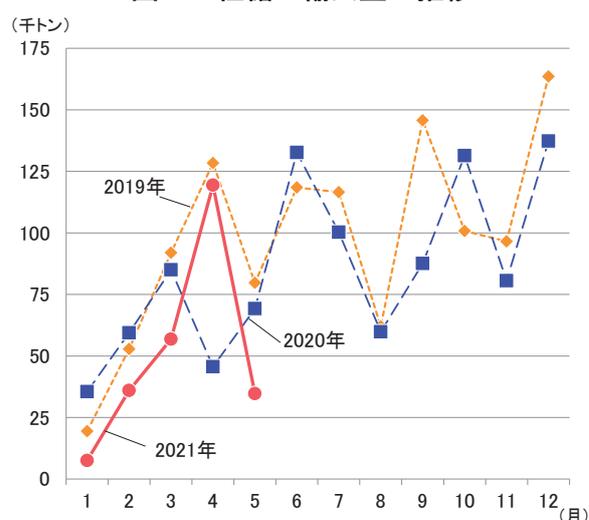
米国 23トン

（前年同月輸入実績なし、同23.0倍）

豪州 1万7683トン

（前年同月比70.9%減、同83.8%減）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

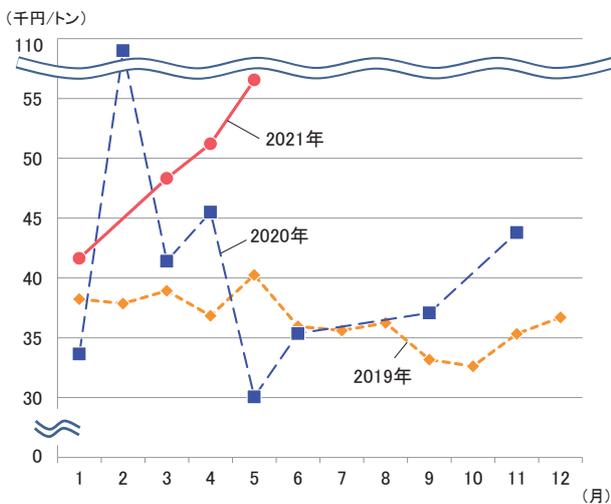
2021年5月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、5万6548円（前年同月比88.1%高、前月比10.4%高）であった（図3）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

| | |
|----|-------------------------|
| タイ | 5万6459円 |
| | （前年同月比87.8%高、前月比10.4%高） |
| 米国 | 12万2087円 |
| | （前年同月輸入実績なし、同83.2%安） |

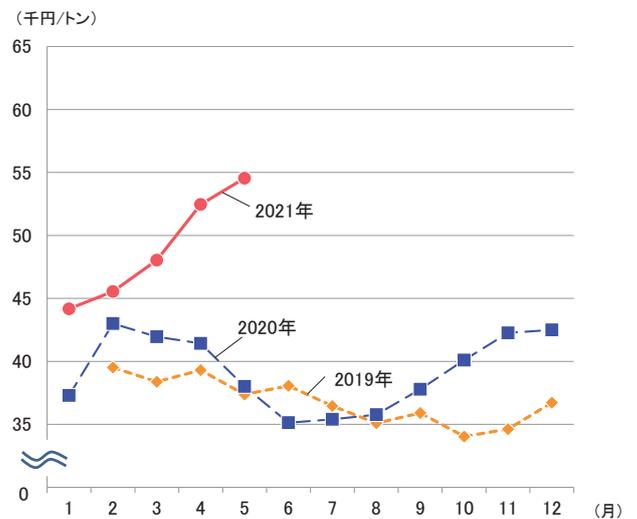
また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、5万4542円（前年同月比43.5%高、前月比4.0%高）であった（図4）。

図3 粗糖 (HSコード1701.14-110) の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2020年7月、8月、10月、12月および2021年2月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖 (HSコード1701.14-200の豪州) の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2019年1月は輸入実績なし。

【含みつ糖の輸入動向】

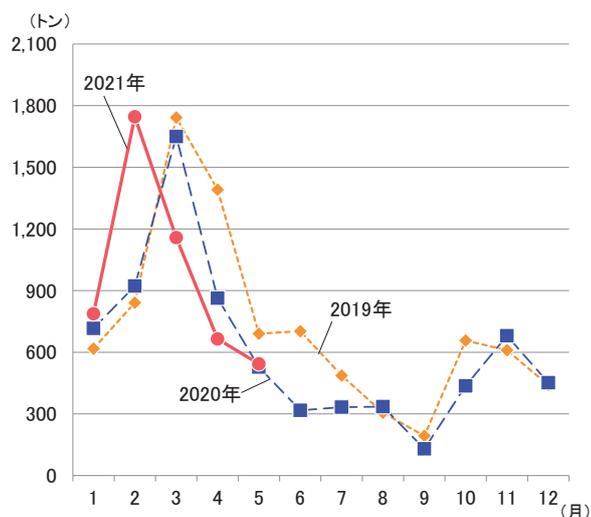
5月の輸入量は前年同月からわずかに増加

財務省「貿易統計」によると、2021年5月の含みつ糖 (HSコード 1701.13-000、1701.14-190) の輸入量は、543トン（前年同月比2.8%増、前月比18.3%減）であった（図5）。

輸入先国は中国、フィリピンおよびタイの3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図6）。

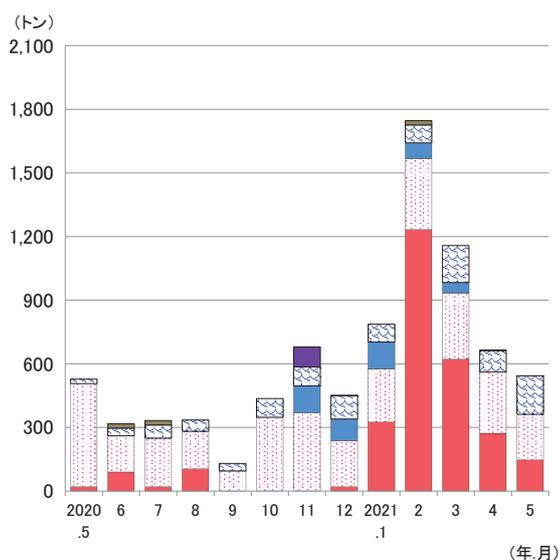
| | |
|-------|-------------------------|
| 中国 | 215トン |
| | （前年同月比55.8%減、前月比25.3%減） |
| フィリピン | 181トン |
| | （同8.6倍、同77.5%増） |
| タイ | 147トン |
| | （同7.0倍、同46.2%減） |

図5 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含みつ糖の国別輸入量の推移



■ タイ ■ 中国 ■ ポリビア
■ フィリピン ■ ブラジル ■ その他

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

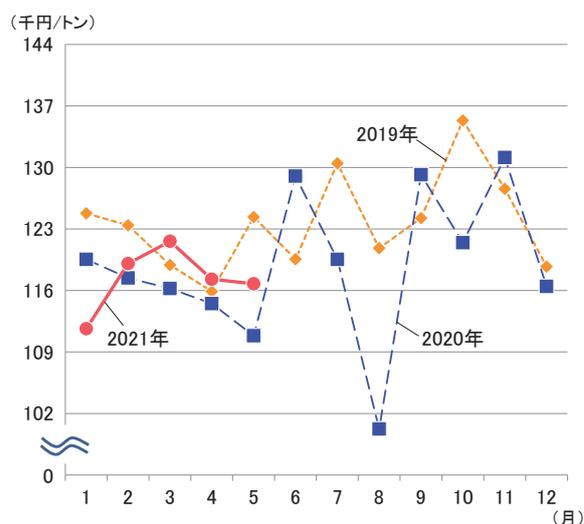
2021年5月の1トン当たりの輸入価格は、11万6751円(前年同月比5.3%高、前月比0.5%安)であった(図7)。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国 12万4242円
(前年同月比9.6%高、前月比2.7%安)

フィリピン 12万5652円
(同19.0%高、同5.1%高)
タイ 9万4837円
(同62.4%高、同8.9%安)

図7 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

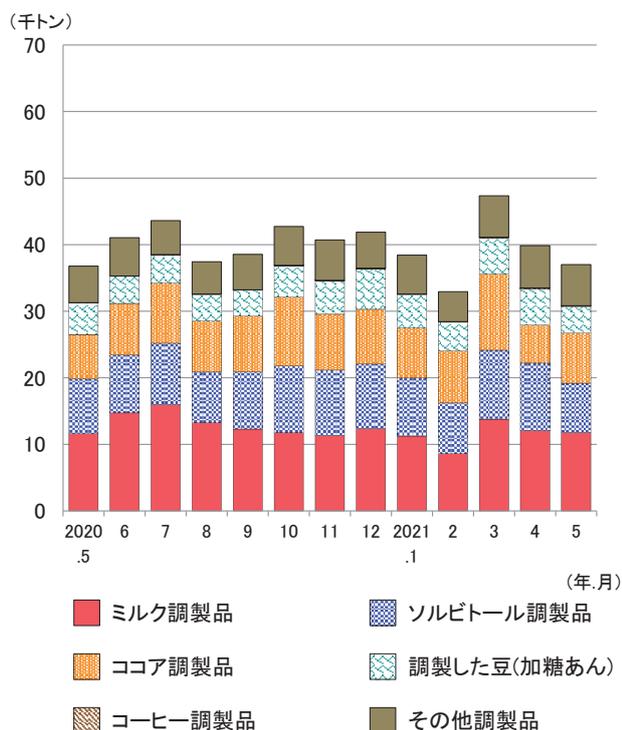
【加糖調製品の輸入動向】

5月の加糖調製品の輸入量は前年同月からわずかに増加

財務省「貿易統計」によると、2021年5月の加糖調製品の輸入量は、3万7001トン(前年同月比0.6%増、前月比7.2%減)であった(図8)。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、次の通り。

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、
1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、
1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、
1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、
2101.12-111、2101.12-112、
2101.12-246

調製した豆(加糖あん)：2005.40-191、2005.40-199、
2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2008.99.218、2106.90-590、2101.20-246、
2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、
2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量 (5月)

(単位：トン)

| 区分 | 輸入量 | 前年同月比 (増減比) | 前月比 (増減比) |
|-------------|--------|----------------|--------------|
| ミルク調製品 | 11,727 | 1.3% | ▲ 2.9% |
| ソルビトール調製品 | 7,473 | ▲ 10.2% | ▲ 26.3% |
| ココア調製品 | 7,559 | 14.5% | 31.8% |
| 調製した豆(加糖あん) | 3,992 | ▲ 16.1% | ▲ 26.9% |
| コーヒー調製品 | 79 | 2.1倍 | ▲ 12.5% |
| その他調製品 | 6,171 | 12.3% | ▲ 3.0% |
| 合計 | 37,001 | 0.6% | ▲ 7.2% |

資料：財務省「貿易統計」

3. 異性化糖の移出動向

6月の移出量は前年同月からかなりの程度減少

2021年6月の異性化糖の移出量は、7万4661トン(前年同月比9.5%減、前月比3.9%増)であった(図9)。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった(図10)。

果糖含有率40%未満 286トン

(前年同月比25.6%減、前月比9.7%減)

同40%以上50%未満 1万9767トン

(同2.0%減、同12.0%増)

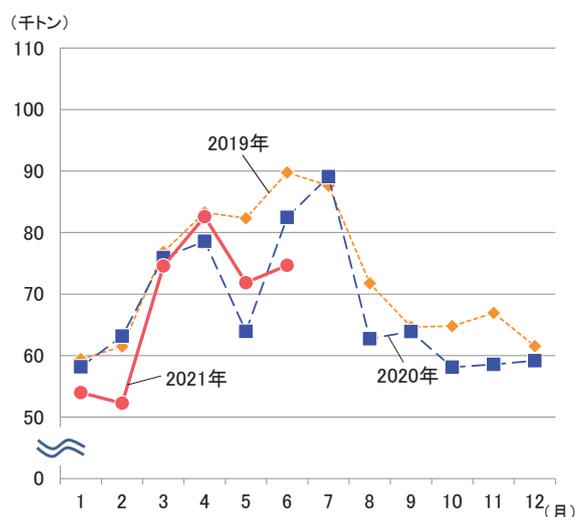
同50%以上60%未満 5万4171トン

(同10.5%減、同2.6%増)

同60%以上 437トン

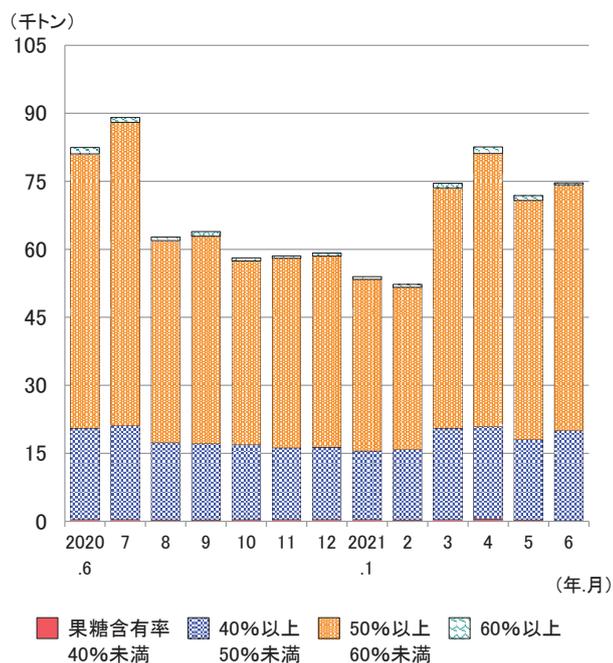
(同68.5%減、同59.5%減)

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

6月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～193円

大阪 同192～193円

名古屋 同196円

関門 同196円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり205～206円

大阪 同207円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり197～198円

大阪 同197～198円

名古屋 同201円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～193円

大阪 同192～193円

名古屋 同194円

6月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり141～142円

果糖分55%もの

同147～148円

【小売価格】

6月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で31.1円

KSP-POSデータ(全国535店舗)によると、スーパーにおける6月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、194.6円（前年同月差2.4円高、前月差3.8円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は31.1円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（6月）

（単位：円/kg）

| 地域 | 平均価格 | 前年同月価格差 | 前月価格差 |
|-------|-------|---------|-------|
| 北海道 | 201.4 | 3.7 | 0.5 |
| 東北 | 200.8 | 3.6 | 1.8 |
| 関東など | 179.4 | ▲ 2.4 | 0.1 |
| 首都圏 | 197.1 | 3.8 | 14.3 |
| 中部 | 184.8 | 2.9 | 2.6 |
| 関西 | 190.9 | ▲ 3.2 | 1.0 |
| 中国・四国 | 210.5 | 6.1 | ▲ 0.7 |
| 九州・沖縄 | 190.6 | 2.6 | 1.6 |
| 全平均 | 194.6 | 2.4 | 3.8 |

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

6月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で79.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける6月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、247.0円（前年同月差3.7円高、前月差2.0円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は79.0円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（6月）

（単位：円/kg）

| 地域 | 平均価格 | 前年同月価格差 | 前月価格差 |
|-------|-------|---------|-------|
| 北海道 | 203.9 | 1.6 | 0.0 |
| 東北 | 282.9 | 7.0 | 5.1 |
| 関東など | 253.4 | 5.1 | 0.8 |
| 首都圏 | 260.2 | 8.5 | 3.4 |
| 中部 | 253.9 | 2.8 | 1.2 |
| 関西 | 232.3 | 0.6 | 1.5 |
| 中国・四国 | 257.7 | 0.0 | ▲ 1.3 |
| 九州・沖縄 | 222.1 | 6.8 | 5.6 |
| 全平均 | 247.0 | 3.7 | 2.0 |

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

6月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で58.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける6月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、230.6円（前年同月差4.6円安、前月差4.4円安）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は58.0円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（6月）

（単位：円/kg）

| 地域 | 平均価格 | 前年同月価格差 | 前月価格差 |
|-------|-------|---------|--------|
| 北海道 | 226.9 | 3.2 | ▲ 1.2 |
| 東北 | 262.5 | 16.0 | 5.8 |
| 関東など | 212.5 | ▲ 19.2 | ▲ 0.1 |
| 首都圏 | 221.5 | ▲ 1.0 | 0.0 |
| 中部 | 232.2 | 4.8 | 0.9 |
| 関西 | 227.5 | ▲ 3.4 | 1.4 |
| 中国・四国 | 251.0 | 0.2 | 1.6 |
| 九州・沖縄 | 204.5 | ▲ 50.1 | ▲ 52.4 |
| 全平均 | 230.6 | ▲ 4.6 | ▲ 4.4 |

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

【購入金額および購入量】

5月の砂糖の支出金額は前年同月と比べわずかに上昇

総務省「家計調査」によると、2021年5月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は39、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は108円（前年同月比0.9%高、前月比44.0%高）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、369グラム（同1.3%減、同8.5%増）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移

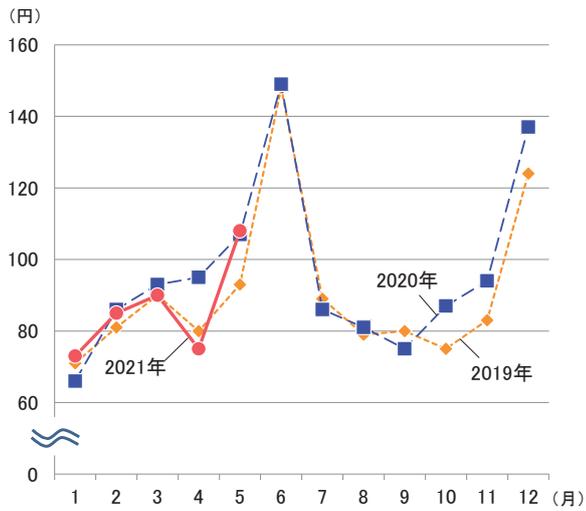


図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移

